

事業名	庁舎管理事業（庁舎設備修繕）
-----	----------------

総事業費	14,187 千円
------	----------------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	施設の適正管理

② 実施（Do）

事業の意図			庁舎機能を良好な状態に保ち、快適に安心して利用できる環境を保持する。
事業の実績 と 成果	取組内容	庁舎建設後２０年近くが経過し、設備類の運転状況や耐用年数から本格的な設備更新時期を迎えており、係で作成した修繕計画に基づき設備類の修繕を実施した。受変電設備修繕について、空調設備（PAC１３系統）故障が急遽発生したことにより、次年度に見送ることとした。	
	成 果	係で作成した修繕計画に基づき個別空調機の修繕、受変電設備の更新、トイレの洋式化、執務室のＬＥＤ化を実施した。	

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	施設の予防保全・長寿命化の観点からは中規模修繕（機能回復）の時期を迎えており、躯体の劣化状況調査を行った上で、改修する部位の特定を明確にし、長期修繕計画に反映させる必要がある。これまでの予算に消防設備修繕分が計上されておらず、点検後に対応している状況を見直す必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	庁舎機能を維持していくため必要な経費である。今後も修繕に掛かる費用は増加が見込まれることから、維持経費の節減が見込まれる機種を選定を行うなど、常に研究しながら対応をしていくことが重要である。また、急な故障などによる改修計画の変更がされていることを踏まえ、点検して計画の見直しも行う必要がある。

④ 改善（Action）

2020年度方向性	修繕活動の早期化を図る。 労働安全衛生上の執務室改修を図る。
-----------	-----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	馬毛島活用事業
-----	---------

総事業費	593 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	財産の有効活用
	基本事業名	施設の適正管理

② 実施 (Do)

事業の意図		馬毛島をより深く知ってもらう。馬毛島の様々な価値を知ってもらう
事業の実績 と 成果	取組内容	市長公約である馬毛島活用計画をH29年度に策定し、H30年度に馬毛島体験学習と馬毛島企画展を実施した。市長からは、活用計画のブラッシュアップを求められており、現在、より実現性のある計画策定について庁内の検討メンバー協議を行い、次年度に向けた取り組みについて検討を重ねてきている。今後は、馬毛島の様々な情報を提供していくことで、市民の馬毛島に対する関心を高め、利活用に関する積極的な議論がなされるようにしたい。なお、R2年度は馬毛島に活動の拠点となるプレハブを設置し、歴史文化活用係の市史編さん事業と連携し市民に対し馬毛島の魅力化を伝えていく計画である。
	成 果	馬毛島へ渡航し馬毛島の自然や文化的なことを知っていただく体験活動や、馬毛島の歴史や文化・自然などを有識者や元住民から学び、加えて馬毛島の活用策を市民自ら考えてもらう取組みとして馬毛島学習会を開催し、多くに市民の参加があったところである。前年度に比べ事業内容を充実させ拡充した取り組みができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	R2年度は、歴史文化活用係と連携し馬毛島の歴史や文化・自然などの調査を行っていくが、防衛省において馬毛島の現地調査を進めていることから、防衛省の対応次第で、本市が望むような調査ができるか不明な部分もある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	政治色の強い事業であることから、今後の取組については、市長の意向も確認しつつ、取組を進めてまいりたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	2020年度の馬毛島活用については、「馬毛島活動拠点施設設置事業」、「馬毛島調査研究事業」、「馬毛島体験活動」、「馬毛島学習会」などを計画しており、九州防衛局種子島連絡所に出向き事業概要の説明を行ったところである。馬毛島に係る事業については、昨年度、市長が防衛省へ訪問した際に副大臣や局長・次長らに説明し、防衛省からも理解を得たところである。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明